



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 エステー株式会社
コード番号 4951 URL <http://www.st-c.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 鈴木 貴子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 吉澤 浩一

TEL 03-3367-6314

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	37,503	5.0	2,945	5.5	2,914	8.5	1,914	13.2
29年3月期第3四半期	35,731	4.4	2,791	44.1	2,687	78.6	1,690	101.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,426百万円 (70.2%) 29年3月期第3四半期 2,013百万円 (63.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	87.14	86.51
29年3月期第3四半期	77.86	77.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	44,249	28,741	63.5	1,275.86
29年3月期	38,458	25,812	65.3	1,148.41

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 28,076百万円 29年3月期 25,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		12.00		12.00	24.00
30年3月期		13.00			
30年3月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,700	8.1	3,500	22.6	3,300	13.7	2,250	23.8	102.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	23,000,000 株	29年3月期	23,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	993,911 株	29年3月期	1,123,029 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	21,969,335 株	29年3月期3Q	21,710,333 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成30年1月31日(水)の第3四半期決算発表後、速やかに当社ウェブサイト「エステー資料室」に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が堅調に推移し、雇用情勢の改善も持続するなど、景気は着実に回復しました。個人消費につきましても、エネルギー価格の上昇や天候不順による食料品価格の値上がり実質購買力の伸長を抑制しているものの、雇用者所得環境の回復や株価上昇を受けた消費者マインドの改善により、回復基調は継続しました。また、回復傾向にある海外経済は、政治情勢や地政学的リスクの顕在化によって大きく影響を受ける懸念があり、依然として不透明な状態が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、絞り込みと集中、世にない商品の開発、スピード経営を継承しながら、「ブランド価値経営」を基本方針として掲げ、持続的成長のために、「高収益体制の構築」を戦略の柱として市場拡大（エアケア事業の市場拡大）、シェア拡大（既存事業の市場活性化）、利益志向（利益構造の改革）に取り組んでまいりました。また、「新たな成長への種まき」として、介護用品の新ブランド「エールズ」による介護用品市場への進出、香りの持つ生理作用に着目した新ブランド「アロマサブリ」による新市場の開拓、グローバル対応強化（タイをハブとするASEAN地域への注力）を進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は375億3百万円（前年同期比5.0%増）となりました。利益面では、主力品と高付加価値商品の販売強化や継続して取り組んでいる返品や製造コストの削減効果が現れたことなどにより売上総利益が増加した一方、新ブランド立ち上げ等に伴う積極的なマーケティング費用の投下などにより、営業利益29億45百万円（同5.5%増）、経常利益29億14百万円（同8.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億14百万円（同13.2%増）となりました。

当社グループの事業セグメントは、「生活日用品事業」の単一セグメントとしておりますが、カテゴリー別の業績は以下のとおりであります。

エアケア（消臭芳香剤）は、贅沢なフレグランスの香りが空間に広がる「玄関・リビング用 消臭力 Premium Aroma」シリーズの売上が大きく伸長した他、香水にも使用される50種類以上のフレグランス成分を調合した上質な香りが広がる「SHALDANフレグランス」等の売上が寄与し、売上高は163億58百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）は、秋シーズンは長雨の影響で市場が低調に推移する中、「ムシューダ」等の売上が堅調に推移し、返品削減にも継続して取り組んだ結果、売上高は62億83百万円（同2.2%増）となりました。

サーモケア（カイロ）は、秋以降気温の低い日が続いたことにより売上が回復に向かっていることや、前シーズン終了後の返品が減少したことから、売上高は51億95百万円（同9.0%増）となりました。

ハンドケア（手袋）は、オイルやグリス等に強い耐性があるニトリル合成ゴム製手袋「メカニックグローブ」等の業務用手袋の売上が好調に推移し、売上高は41億23百万円（同6.2%増）となりました。

湿気ケア（除湿剤）は、湿気をとりながら気になるニオイを脱臭する付加価値商品「備長炭ドライペット」やシートタイプの「ドライペット 引き出し・衣装ケース用」が伸長したものの、タンクタイプの「ドライペット スキット」の売上が減少したこと等により、売上高は24億42百万円（同1.4%減）となりました。

ホームケア（その他）は、今秋立ち上げた新ブランド「洗浄力」から発売した泡で汚れを落とすトイレ用洗剤「洗浄力 モコ泡わ トイレクリーナー」の売上が寄与した他、「おひさまの洗たく くつクリーナー」の売上が伸長したこと等により、売上高は31億円（同14.4%増）となりました。

カテゴリー	売上高	前年同期比
エアケア（消臭芳香剤）	16,358百万円	3.9%増
衣類ケア（防虫剤）	6,283百万円	2.2%増
サーモケア（カイロ）	5,195百万円	9.0%増
ハンドケア（手袋）	4,123百万円	6.2%増
湿気ケア（除湿剤）	2,442百万円	1.4%減
ホームケア（その他）	3,100百万円	14.4%増

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して57億91百万円増加し、442億49百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加13億47百万円、受取手形及び売掛金の増加17億3百万円、商品及び製品の増加6億44百万円、投資有価証券の増加19億63百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して28億62百万円増加し、155億8百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加10億54百万円、電子記録債務の増加18億74百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して29億29百万円増加し、287億41百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加13億32百万円、その他有価証券評価差額金の増加13億87百万円等であります。

以上の結果、自己資本は280億76百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して1.8ポイント減少し、63.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月1日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,438,820	12,786,308
受取手形及び売掛金	5,220,476	6,923,526
商品及び製品	3,939,709	4,583,781
仕掛品	266,133	234,651
原材料及び貯蔵品	866,762	910,933
繰延税金資産	413,774	300,133
その他	324,859	318,835
貸倒引当金	△3,950	△6,332
流動資産合計	22,466,586	26,051,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,144,828	3,121,318
機械装置及び運搬具（純額）	1,063,667	1,066,318
工具、器具及び備品（純額）	143,552	210,575
土地	3,095,974	3,415,125
リース資産（純額）	553,110	439,443
建設仮勘定	-	113,910
有形固定資産合計	8,001,133	8,366,693
無形固定資産	333,867	280,533
投資その他の資産		
投資有価証券	6,514,815	8,478,204
長期貸付金	14,611	10,683
退職給付に係る資産	102,912	33,863
繰延税金資産	10,824	11,124
その他	1,013,403	1,016,967
投資その他の資産合計	7,656,567	9,550,842
固定資産合計	15,991,567	18,198,068
資産合計	38,458,154	44,249,907

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,158,572	3,213,528
電子記録債務	2,937,102	4,812,043
リース債務	162,774	211,006
未払金	2,405,218	2,724,713
未払費用	754,050	417,852
未払法人税等	679,687	340,461
未払消費税等	378,977	99,925
返品調整引当金	108,200	53,100
営業外電子記録債務	19,943	35,856
その他	61,644	200,578
流動負債合計	9,666,172	12,109,067
固定負債		
リース債務	434,612	264,037
繰延税金負債	718,476	1,346,009
再評価に係る繰延税金負債	262,175	262,175
役員退職慰労引当金	127,341	123,966
役員株式給付引当金	40,178	57,009
退職給付に係る負債	1,201,015	1,238,789
その他	195,891	107,230
固定負債合計	2,979,692	3,399,218
負債合計	12,645,864	15,508,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	11,015,855	12,348,098
自己株式	△1,487,116	△1,308,887
株主資本合計	23,662,053	25,172,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,378,520	3,766,261
土地再評価差額金	△537,202	△537,202
為替換算調整勘定	△354,368	△314,971
退職給付に係る調整累計額	△25,219	△9,922
その他の包括利益累計額合計	1,461,729	2,904,165
新株予約権	46,185	26,313
非支配株主持分	642,321	638,617
純資産合計	25,812,289	28,741,621
負債純資産合計	38,458,154	44,249,907

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
売上高	35,731,276	37,503,445
売上原価	21,215,697	22,014,828
売上総利益	14,515,578	15,488,617
返品調整引当金戻入差額	56,200	55,100
差引売上総利益	14,571,778	15,543,717
販売費及び一般管理費	11,780,128	12,598,465
営業利益	2,791,650	2,945,251
営業外収益		
受取利息	5,469	5,438
受取配当金	98,104	95,612
仕入割引	114,013	114,345
持分法による投資利益	32,966	-
その他	87,058	150,191
営業外収益合計	337,613	365,587
営業外費用		
支払利息	164	151
売上割引	407,158	371,683
持分法による投資損失	-	12,631
その他	34,633	11,903
営業外費用合計	441,957	396,370
経常利益	2,687,306	2,914,469
特別利益		
固定資産売却益	887	830
投資有価証券売却益	3,545	-
新株予約権戻入益	4,705	-
特別利益合計	9,138	830
特別損失		
固定資産除売却損	5,370	16,220
減損損失	130,229	-
投資有価証券評価損	-	32,530
その他	213	-
特別損失合計	135,814	48,750
税金等調整前四半期純利益	2,560,630	2,866,548
法人税、住民税及び事業税	680,320	788,453
法人税等調整額	58,233	114,987
法人税等合計	738,553	903,441
四半期純利益	1,822,076	1,963,107
非支配株主に帰属する四半期純利益	131,698	48,781
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,690,378	1,914,326

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,822,076	1,963,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448,113	1,385,613
為替換算調整勘定	△240,803	64,775
退職給付に係る調整額	17,833	15,297
持分法適用会社に対する持分相当額	△33,547	△1,832
その他の包括利益合計	191,594	1,463,854
四半期包括利益	2,013,671	3,426,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,967,180	3,356,762
非支配株主に係る四半期包括利益	46,490	70,200

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

記載すべき重要な事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間
（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

当社グループは、「生活日用品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。